

## [ 経営方針 ]

### [ ビジネスの基本スタンス ]

今後、行政、企業活動、個人生活など社会のあらゆる局面においてインターネットの利用が浸透する中で、富士通グループは、事業戦略である「Everything on the Internet」のもとに、常にお客様の視点に立った「カスタマ・フォーカス」を徹底し、「強いテクノロジーとプロダクト」を基盤としたソリューションを提供してまいります。今後、超高速・大容量ネットワークが社会のすみずみまで広く普及し、新たなインフラを活用した様々なサービスが本格的に進展するには、極めて高い性能と信頼性を備えたプラットフォームとともに、ますます複雑化・高度化するニーズに対応したソリューションが不可欠です。富士通グループは、最先端のテクノロジーとグローバルに展開しているプラットフォーム、およびこれらを活用した豊富なソリューションという優位性を活かし、超高速・大容量ネットワークを基盤とした社会変革をリードする企業グループをめざしてまいります。さらに、電子行政、バイオインフォマティクス分野など、IT が基盤となる新市場にも積極的に対応してまいります。

### [ 対処すべき課題 ]

当面の課題といたしましては、今後とも富士通グループを取り巻く経営環境はさらに激しく変化することが予想されますが、さらなる成長性と収益性の向上を図るため、以下の施策に取り組んでまいります。

#### ・競争力のある製品、サービスの提供

インターネットのコアとなる最先端のテクノロジーを駆使したプラットフォーム(大容量光通信システム、次世代移動通信システム、スーパーサーバ等)の開発とこれらを活用したソリューションの提供に選択と集中を図ることにより競争力を強化してまいります。さらに、これらと電子デバイスを中心としたテクノロジーとの相互連携による新たなソリューションの提供を推進し、併せて、新しい市場に対応した営業体制の再編・強化を図ってまいります。

#### ・経営効率化

ワールドワイドな製造体制の強化や他社との戦略的提携の推進により、経営資源の最適配分と経営効率化を図ってまいります。

#### ・グローバルなビジネス体制の強化

米国アムダール社、欧州フジツウ・シーメンス・コンピュータズ社とともにオープン系サーバのグローバル展開を推進するとともに、米国 DMR 社、英国 ICL 社と連携し、グローバルにソリューションを提供してまいります。

#### ・人材活性化

戦略的な人材育成や他社に先駆けて導入した成果主義の新たな展開を通じ、さらにチャレンジングな企業風土を醸成してまいります。

#### ・コーポレートブランドの確立

昨年 6 月より「The Possibilities Are Infinite」を掲げて展開しているグローバルブランドプロジェクトについては、お客様の信頼に応えられる IT のリーディングカンパニーとしての富士通グループのプレゼンスを高め、グループ全体で "FUJITSU" ブランドを共有してまいります。

#### ・地球環境問題への対応

「すべてをグリーンに」をスローガンとして本年 4 月に第三期環境行動計画を定め、引き続き事業活動のあらゆる面で環境負荷の低減を推進してまいります。

こうした努力を続けることにより、ネットワーク社会の将来に向けて中心的な役割を担い、お客様や社会から信頼されるグローバルカンパニーをめざして、常に自己革新を推進してまいります。